

大学生 高校生 若いママも

戦争法案反対 今声上げる時

名古屋市「昭和区の会」
320人がデモ



「本当に止める。戦争法案」と書いた団扇(うちわ)を掲げパレードする青年ら=20日、名古屋市昭和区

本村議員も参加

「僕たちは人を殺す戦争に行きたくない」「子どもを守ろう」。名古屋市昭和区で20日、高校生、大学生、子育てママさんが次々、戦争法案に怒りの声をあげました。弁護士らでつくる「集団的自衛権行使に反対する昭和区の会」がよびかけた区民集会とパレードには320人が参加。多くのマスコミが取材しました。集会に先立ち、シンガーソングライターの岩瀬よしのりさんが、23歳で戦死した「天性の詩人」と呼ばれた竹内浩三作「骨にうたう」に曲をつけて歌いました。

リレートークで、南山大学4年生の木村朋樹さん(21)は「安倍首相は主権者である国民の声を聞くべきだ。主権者である僕たちが声を上げ廃案にがんばろう」。高校2年生の男子生徒(16)は「戦争になり真っ先に戦場に行くのは僕たち若い世代。僕たちこそが『戦争に行きたくない』の声を上げなければならぬ」と訴えました。主権者あいさつで小島高志弁護士は「多数の国民の声を無視しての強行採決は狂気の沙汰。国民の怒りは広がらなければ安倍政権の支持率は急落している。さらに世論と運動を広げ、安倍政権を追い詰めよう」と呼びかけました。同会は各政党に参加をよびかけ、日本共産党の本村伸子衆院議員、柴田民雄名古屋市

議員、民主党の谷口知美、愛知県議が参加し連帯のあいさつをしました。

集会後、参加者は「本当に止める。戦争法案。未来ある君たち、平和を」と書いた、そろいの団扇(うちわ)を掲げ、ドラムや

かねを打ち鳴らしながらパレードしました。保育士の女性(37)は「今までのデモと違って高校生や若いママさんが多く、怒りが広がっていることを実感した。安倍政権が法案を断念するまでがんばる」と話しました。

7/22 系旗

若者が続々と署名

静岡市 50人でレッドアクション

7/22
赤旗



「レッドカード安倍政権」などと戦争法案反対を訴える女性たち＝20日、静岡市葵区

静岡市葵区伝馬町で20日、「違憲の戦争法案は許しません 女性レッドアクション静岡」が街頭宣伝しました。50人の女性がプラカードや横断幕を持ち、「レッドカード安倍政権」や「戦争する国絶対反対」とコール。法

案反対の署名も集め、若者や高齢の女性が続々と協力し、135人分集めました。

新婦人役員、保育士、小学校教諭、農民、業者たちが交代でマイクを持ち、「このままではアメリカと一緒に戦争する国になってしまふ」「子どもたちを戦場に送りたくない」などと訴えました。

署名した女子中学生2人組は、「太平洋戦争のDVD映像を見て、悲惨だと感じた。同じことを繰り返してはいけない」、「難しいことはわからないけど、何も関係ない人が戦争で傷つくのはおかしい」と話しました。「争いことは嫌いだ」という男性(18)は「戦争はムダに死者を出す。多くの国民の反対を押し切り、9条を壊してまで強行するような法案でない」。生後8カ月の娘をベビーカーに乗せた母親(29)は「子どもの将

来に恐ろしい戦争はしてほしくない」と話しました。

日本共産党の鈴木ちか参院選挙区候補、鈴木節子静岡市議も参加しました。

「戦争絶対ダメ」150人元気にデモ

岐阜・恵那市

岐阜県恵那市で19日夕、戦争法案阻止市民集会在駅前広場で行われ、150人余が参加しました。戦争はいや



戦争法案はNOと氣勢を上げてパレードする人たち＝19日、恵那市

だ！平和がいちばん！恵那市民の会(代表 安藤広康さん)主催。

リレートークで、さよなら原発の会の代表が「平和、安全という名前で安心を植え付けているが、裏を返せば戦争、危険というもの。原発も安全といっているが、こんな危険なものはない。やめさせるには国民が集まって声を上げることだ」と訴えました。戦争体験者の男性は「ウソを見破る力をつけることが大事」と続け、新婦人の代表は教え子や友人に電話を入れて戦争法案反対を広げた経験を語り、地元の男性が安倍政権を皮肉った川柳を紹介し、「安倍がいやなことを続けよう」とコールしました。

集会后、参加者は「安倍政治を許さない」「NO!」の紙製プラカードを掲げ、元氣よくパレードしました。